

Economic Indicators

発表日：2020年6月2日(火)

一般会計税収(2020年4月末)

～確定申告の期限延長で急減～

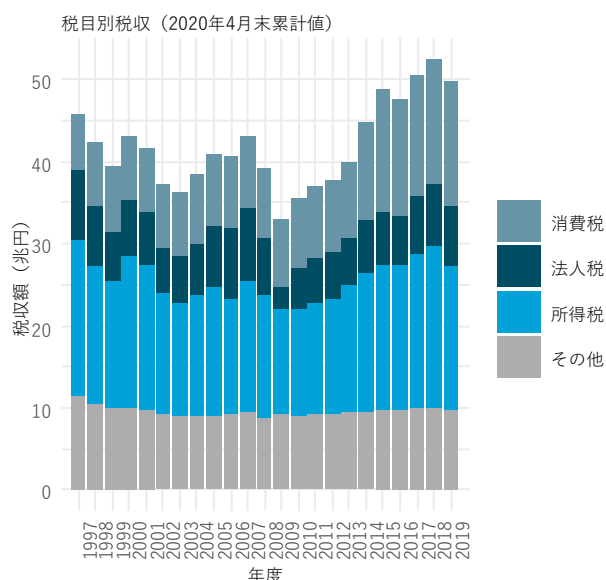
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
副主任エコノミスト 星野 卓也 (TEL:03-5221-4547)

今回の急減はテクニカル要因

財務省の公表した2020年4月末までの一般会計税収(累計値)は、49.7兆円と前年同時期の52.3兆円から▲5.1%の減少となった。税目別にみると、所得税が17.6兆円(前年比▲11.3%)、法人税は7.3兆円(同▲1.9%)、消費税は15.1兆円(同+0.1%)となった。所得税が大幅に減少しているが、ここには確定申告の期限が3月から4月に延長されたことが影響している。通常であればこの4月に納付される税収が5月に繰り延べされる形になっているため、5月には幾分反発するだろう。今回の急減は、経済情勢悪化の影響というよりはテクニカルな要因が大きい。

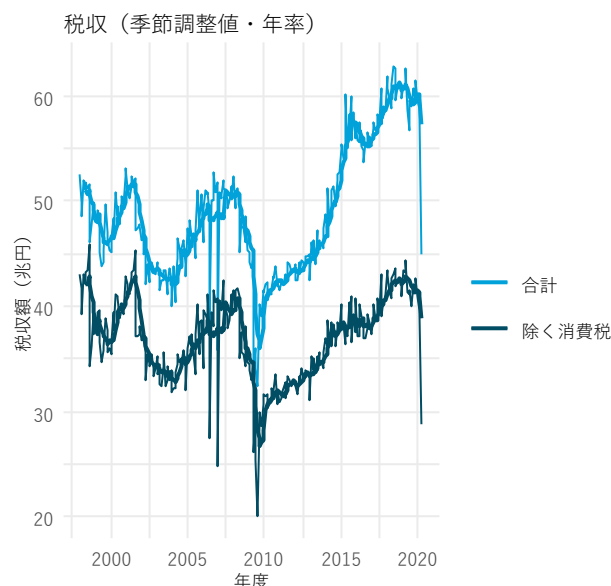
新型コロナ感染拡大に伴う経済悪化の影響が税収に跳ねてくるのはこれから、2020年度である。緊急事態宣言下の消費減、休業増に伴う所得税の減、業績悪化に伴う法人税の減などと影響は主幹3税すべてに及んでくることになる。また、政府は4月に策定した緊急経済対策において、1年間の納税の猶予特例を設けている。この点も2020年度税収を減じることになる。第一次・第二次の大規模補正予算による記録的な歳出増に加え、税収も記録的な減少となる可能性が高く、財政赤字はリーマン危機時を上回るものになるだろう。政府は2025年度のプライマリーバランス黒字化を掲げているが、今年の骨太方針においてこの目標は見直されることになりそうだ。

資料1. 税収(2020年4月末時点累計値)



(資料1出所) 財務省「租税及び印紙収入、収入額調」

資料2. 税収(季節調整値・年率)の推移



(資料2出所) 同左。季節調整値は筆者。太線は6ヶ月移動平均。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。